



▲犬吠埼の白亜紀浅海堆積物(国指定天然記念物)



▲千騎ヶ岩(県指定天然記念物)

目指せ!銚子をジオパークに!

「ジオパーク」活動①

大地と自然、 そして人との関わりを学ぶ仕組み



▲犬岩

銚子は「地層の博物館」と呼ばれています。関東最東端に位置し、三方を太平洋と利根川に囲まれているため、海岸線が多く、地層観察に適した場所です。地層は、地球の成り立ちを知る手がかりとなります。銚子では、約1億5000万年前からの銚子誕生の記録が地層をとおして観察できるのです。

現在、地層をはじめとする銚子特有の地質を中心に「日本ジオパークネットワーク」への正会員登録を目指す活動を行っています。

日本国内には「日本ジオパーク」が20カ所あり、そのうち5カ所が「世界ジオパーク」としても認定されています。「ジオパーク」として活動していくためには、審査を受け、認定されることが必要です。

「ジオパーク」活動とは、地質資産を活用することだけではありません。文化・産業・自然などその土地に根ざしたすべてのものを活用していきます。

約46億年前に地球が誕生し、長い年月を経て私たちの郷土である銚子の大地もでき上がりました。そして、そこには環境に適応した植物や動物が生息し、現在の銚子の自然が形成されたのです。この土地で、私たちの祖先は自然環境を利用した産業を営み、文化を育んできました。その足跡の積み重ねが歴史となって、現在の銚子の姿があります。

「ジオパーク」とは、大地と自然、そして人との関わりを学ぶ仕組みといえます。

今月の表紙



看護科35年最後の修了生
平成23年度 銚子市立銚子高等学校
卒業証書・修了証書授与式

「平成23年度銚子市立銚子高等学校卒業証書・修了証書授与式」が3月8日(木)、同校体育館で行われました。

この日新しく旅立ったのは、普通科卒業生278人、理数科卒業生42人、そして専攻科最後の修了生36人の計356人。

市立銚子高校の看護科・専攻科は昭和52年(1977)に市立銚子西高校に衛生看護科として設立され、35年の歴史の間に、1246人の卒業・修了生を送り出しています。

猿渡校長は式辞で「次の時代を背負っていくという自覚と誇りを持ち、さまざまなことに果敢に挑戦してください」と、はなむけの言葉を贈りました。

専攻科修了生代表の高橋萌子さんは答辞で「私たちが地域の医療に貢献していくことで、看護科・専攻科の精神を消すことなく、伝統を受け継いで行く」と述べました。

人のうごき 平成24年3月1日現在 カッコは前月比

■人口 68,432人(-125人) ■男 33,080人(-65人) ■女 35,352人(-60人) ■世帯 26,924世帯(-17世帯)

2月中の人口動態 ●出生 33人 ●死亡 106人 ●転入など 81人 ●転出など 133人

